

令和5年度 東久留米市男女平等推進センター 主催事業

<シネマ de おしゃべり>



<上映作品>

彼女の名はサビーヌ



映画上映と自由参加のおしゃべりタイムもあります。
聞くだけの参加もどうぞ。

5月19日(金)

18:00~20:00

- 会場: 市役所7階704会議室
- 参加費: 無料
- 定員: 20名(先着・要申込)

<映画紹介> 「彼女の名はサビーヌ」

フランスの名女優サンドリーヌ・ボネールの初監督作品。サンドリーヌの自閉症の妹サビーヌは、5年間の入院生活によって変わり果てた姿になっていた。25年の歳月をかけて撮影された映像は、若かりし頃の生き生きとした美しいサビーヌと、現在の彼女の「変化」を容赦なく突きつける。しかし、カメラを通したサンドリーヌの眼差しは、今も昔もから変わることなく愛に満ち溢れ、妹サビーヌを優しく抱擁する。第60回カンヌ国際映画祭 国際批評家連盟賞受賞。

監督: サンドリーヌ・ボネール / 2007年 / フランス / 85分 / 配給: アップリンク

「映画とヒューマンイズムの素晴らしいレッスン」(ル・モンド紙)

サンドリーヌ・ボネール

1967年5月31日、フランスのクレルモン＝フェランに生まれたサンドリーヌ・ボネールは『愛の記念に』(モーリス・ピアラ監督、1983)の主演女優として注目を集め、フランスのセザール賞有望若手女優賞に輝いた。1985年にはアニエス・ヴァルダ監督『冬の旅』でセザール賞主演女優賞を最年少で受賞。『沈黙の女/ロウフィールド館の惨劇』ではヴェネチア映画祭最優秀女優賞を獲得。『彼女の名はサビーヌ』は初長編監督作品となる。

- 申込み 4月17日(月)から
- ・ 右記QRコードから
- ・ TEL 042-472-0061 ・ MAIL fifty2@city.higashikurume.lg.jp
- ・ または直接、男女平等推進センターへ(市役所2階、平日9時~17時)



東久留米市第4次男女平等推進プラン 令和5(2023)年度~令和9((2027)年度
互いの人権を尊重し、個性と能力をいかし、ともに参画するまち 東久留米